

証券コード：7472

“百年の信頼を未来につなげる”

2025年3月期 第1四半期
決算説明補足資料

2024年8月5日(月)
株式会社鳥羽洋行

I. 2025年3月期1Q決算について

II. 今後の戦略及び見通し

I.2025年3月期1Q決算について

<連結損益計算書の概要>

(単位：百万円)

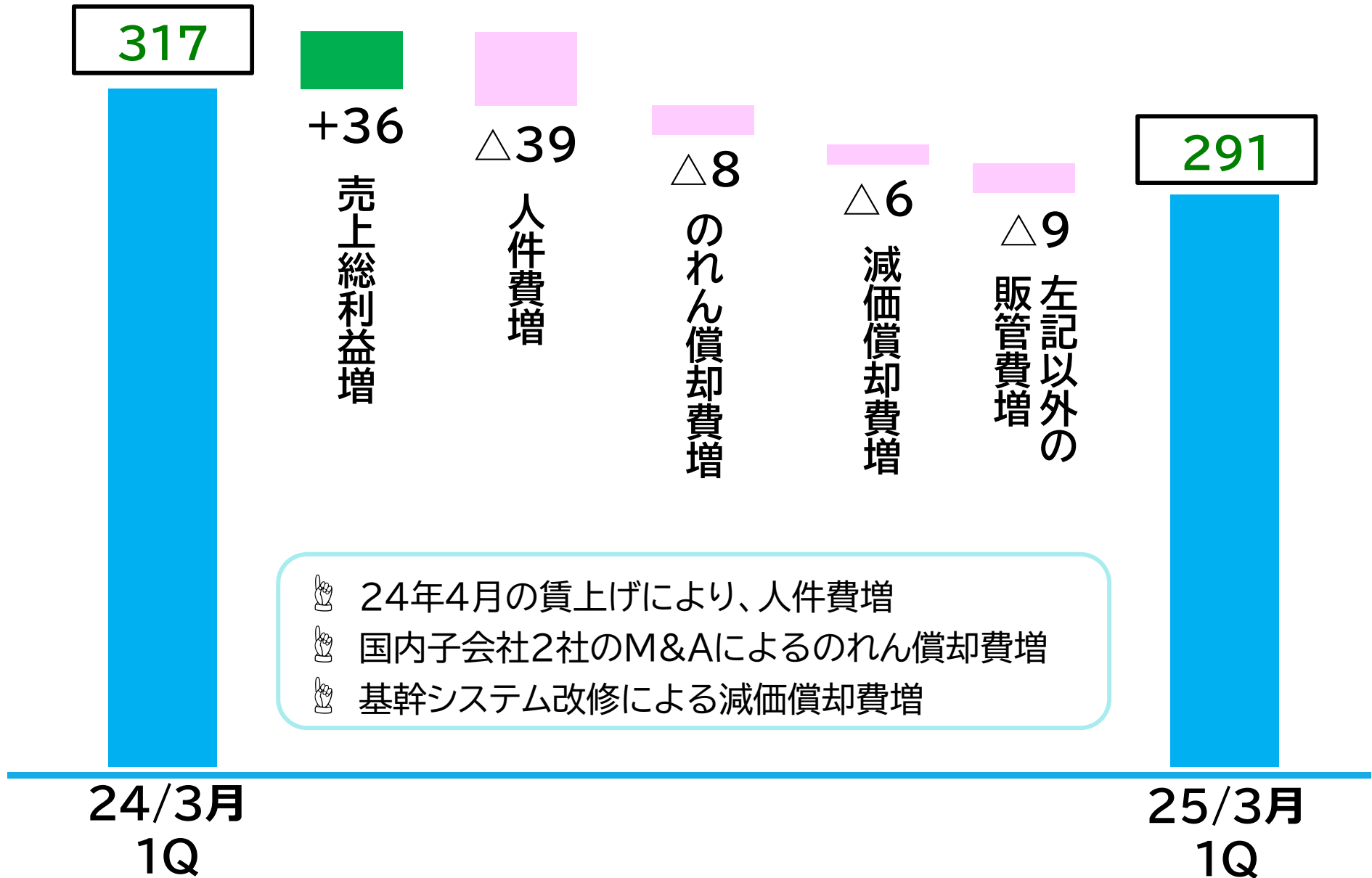
	24/3月期 1Q	25/3月期 1Q	前期比 (増減率)	備 考
売 上 高	6,650	7,040	5.9%	国内販売は、前期比で微減 海外販売は、前年比プラスで推移
営 業 利 益	317	291	△8.3%	販売管理費が、前期比9.4%増加 売上総利益率は前期比0.3ポイント減
営 業 利 益 率	4.8%	4.1%	△0.7P	
経 常 利 益	350	339	△3.1%	
経 常 利 益 率	5.3%	4.8%	△0.5P	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	239	229	△4.5%	
四半期純利益率	3.6%	3.3%	△0.3P	

Point!

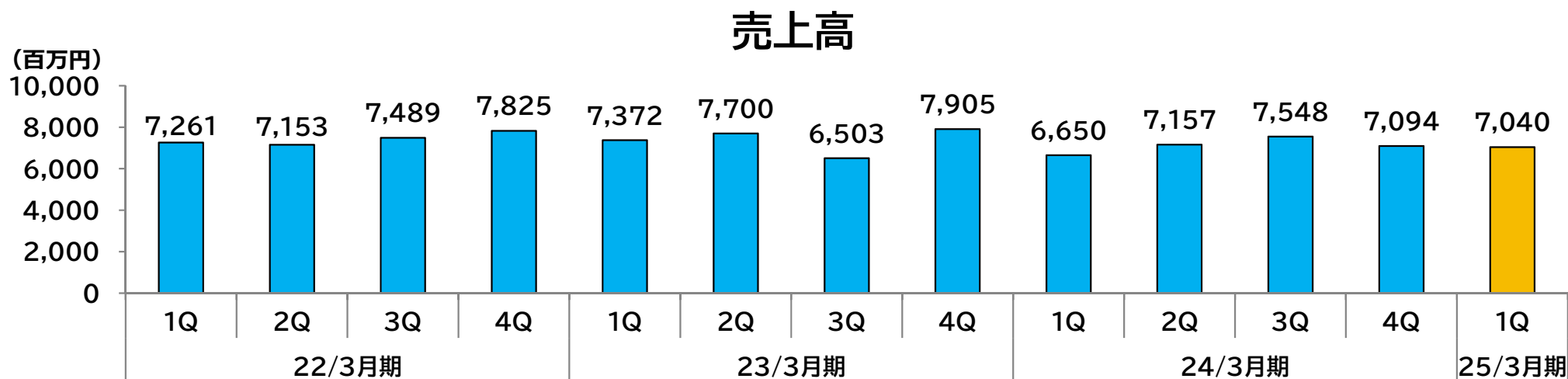
- メモリ半導体の回復遅れにより、半導体関連取引先への売上が低調。
- 中国は景気低迷が継続していたものの、売り上げは前年を上回る。

<連結営業利益増減分析>

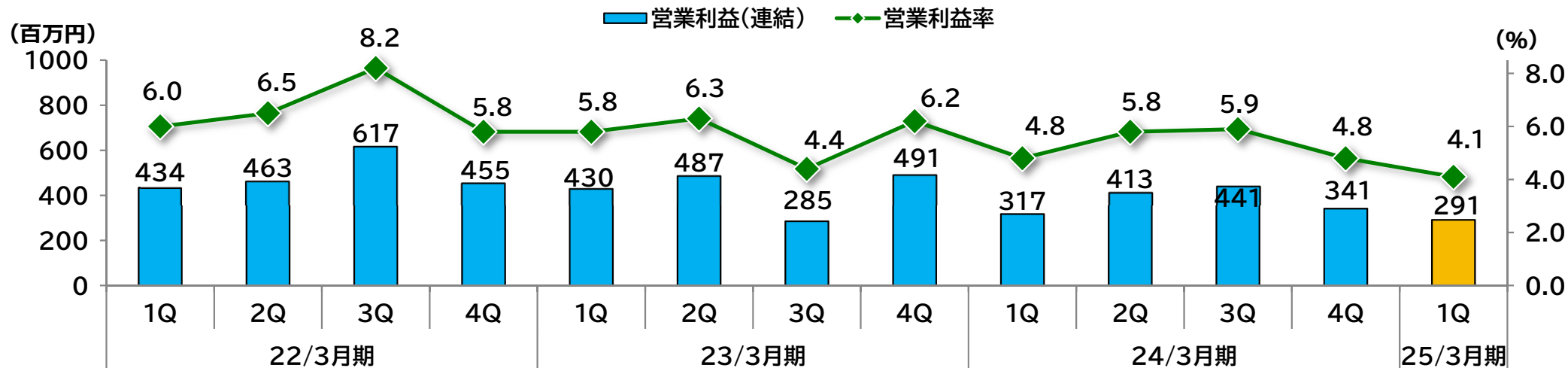
(単位:百万円)



<四半期毎の売上高・営業利益(連結)の推移>



営業利益(連結)/営業利益率



Point!

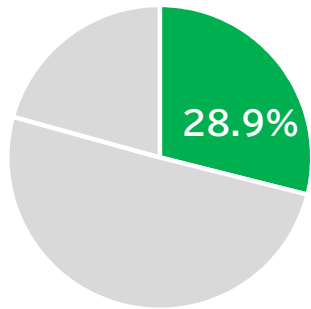
- 半導体製造装置関連、自動車・車載部品関連得意先への売上は前年割れ。
- 販管費増により、営業利益が減少。

<商品部門別実績>

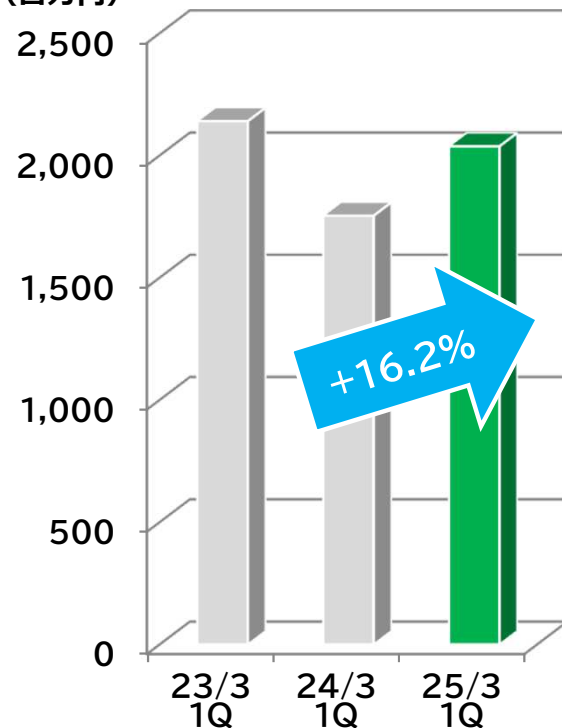
制御機器

連結売上高

20億37百万円



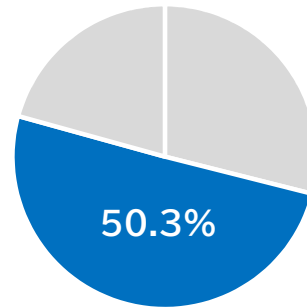
(百万円)



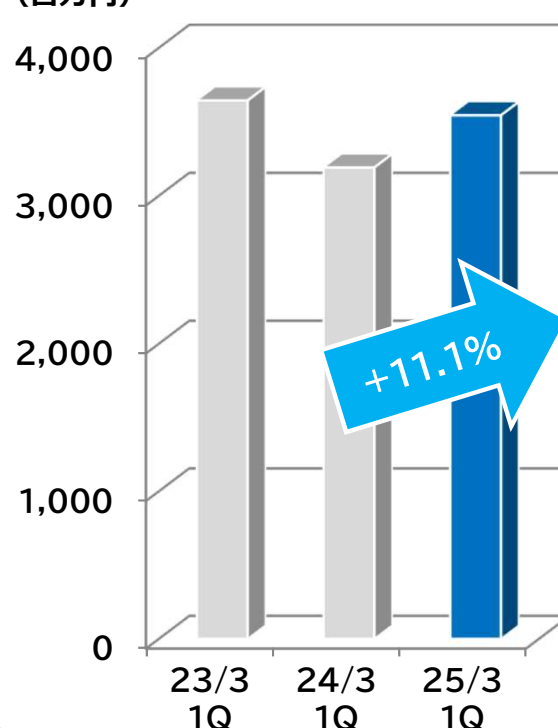
FA機器

連結売上高

35億44百万円



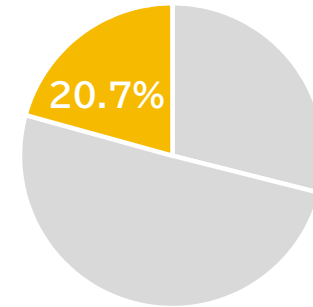
(百万円)



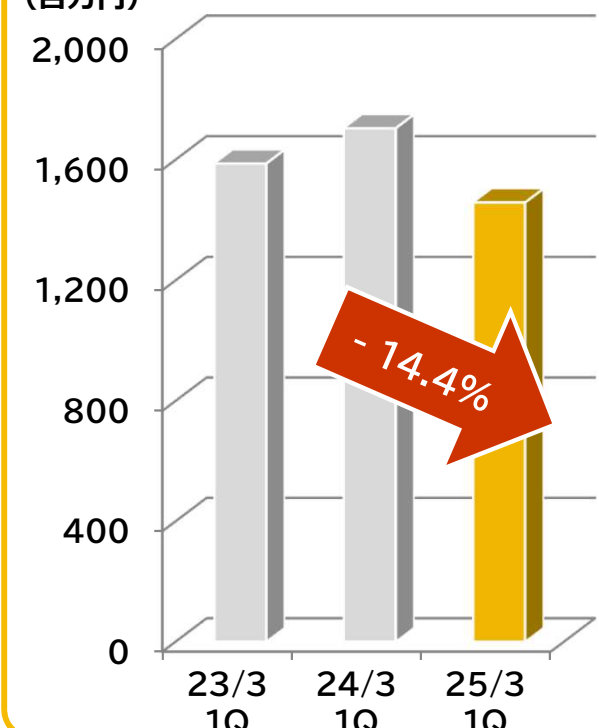
産業機器

連結売上高

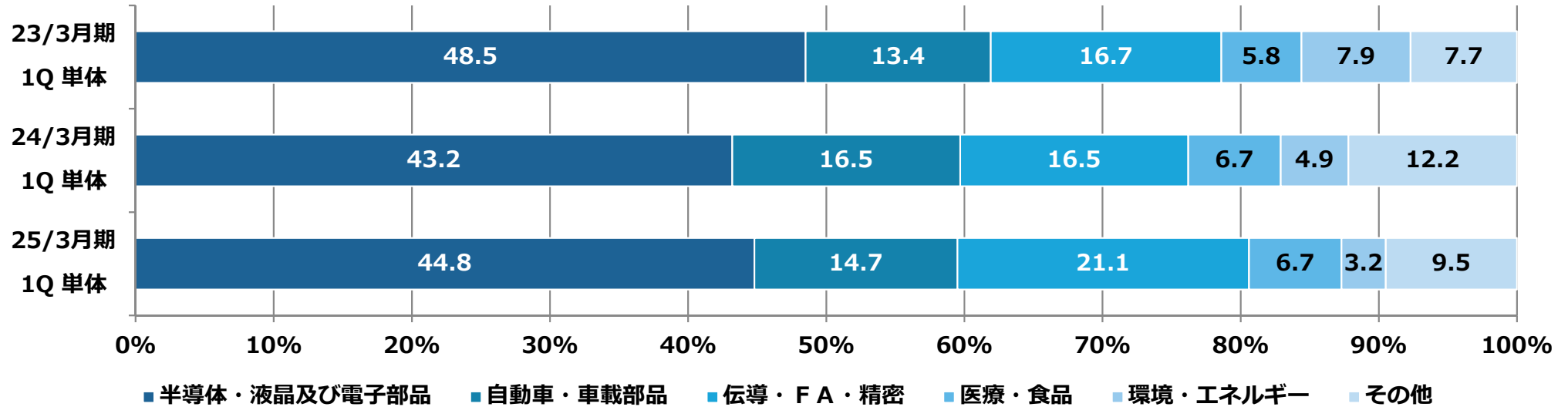
14億58百万円



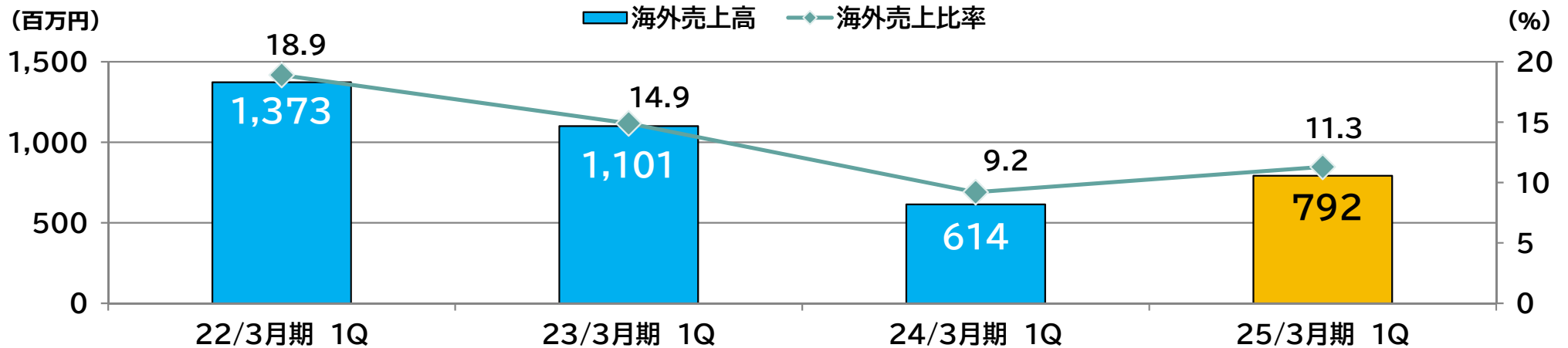
(百万円)



<業種別売上構成比(単体)推移>



<海外売上高・海外売上比率(連結)推移>



Point!

● 中国子会社でのロボット(FA機器)の販売増。

<連結貸借対照表の概要>

(単位:百万円)

	24/3月末	構成比 (%)	24/6月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	24,596	76.6	22,971	75.5	
現金・預金	12,648	39.4	11,850	39.0	
受取手形・売掛金 ・電子記録債権	11,387	35.4	10,513	34.6	
商品	351	1.1	509	1.7	
固定資産	7,527	23.4	7,437	24.5	
資産合計	32,124	100.0	30,409	100.0	
流動負債	11,053	34.4	9,635	31.7	
支払手形・買掛金 ・電子記録債務	9,868	30.7	8,809	29.0	
固定負債	580	1.8	601	2.0	
負債合計	11,633	36.2	10,236	33.7	
純資産合計	20,491	63.8	20,172	66.3	
負債純資産合計	32,124	100.0	30,409	100.0	

Point!

- 構成比に大きな変化はございません。

Ⅱ. 今後の戦略及び見通し

<今後の市場環境>

◆ 半導体関連

生成AI・5G等の情報通信技術に係る設備投資、自動車向けパワー半導体の需要は底堅く推移する見込みではあるが、メモリ半導体需要の回復状況により左右される。

◆ 自動車・車載部品業界

一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響は改善傾向にあるものの、EV関連の設備投資需要が停滞傾向。

◆ 自動化システム

生産現場における労働力不足を補う自動化システム案件は増加傾向にあり、ロボットやFA機器の販売は好調に推移する見込み。

◆ 環境負荷低減商材

カーボンニュートラルに向けた取組みが拡大する中で、CO2排出量削減効果の高い商材の発掘、拡販により他社との差別化と企業価値の向上を目指す。

◆ M&A(事業の多角化)、国内営業所の拡充

理化学系商社2社の連結子会社化による事業拡大。

四日市営業所を新設し、国内全23拠点に拡大。新規顧客開拓及び細やかなサービスの提供を展開。

<2025年3月期の戦略 ~5つの柱~>

1 次世代の柱となるユーザーの新規開拓、育成

- ・積極的な展示会出展と来場者フォローによる新規顧客開拓 ~ブランド強化~
- ・M&Aによるシナジーを活かした売上/利益の拡大

2 新商材発掘(SDGs/環境や人にやさしい商品)

- ・環境負荷や労働負荷を低減できる新たな商材の発掘

3 装置ビジネスの更なる販売強化

- ・労働力不足を補う自動化機器とロボットの販売強化

4 技術商社としての存在価値強化

- ・各種専門資格等の取得による提案型営業の推進
- ・人的資本経営推進 社員研修等による人材の育成

5 海外拠点との連携強化

- ・新規海外拠点の検討

<大型展示会へ出展>
2024年度の出展実績と予定
7月開催済：工場内の協働ロボット
利活用展
10月予定：関西機械要素技術展



<ロボット販売拡大>
協働ロボットや、小型~中型
産業用ロボット販売において
「国内販売 No.1」を目指す

<各種自動化装置ビジネス>
提案から構築まで、生産性の
向上と労働力不足の解消に貢献



※当社はサステナビリティ委員会を運営しており、SDGsゴールの達成に向けた取組みを推進しております。

<2025年3月期の連結業績予想>

(単位:百万円)

	第75期 (2024年3月期) 実績	第76期 (2025年3月期) 計画	前期比 (増減率)
売上高	28,449	31,000	9.0%
営業利益	1,514	1,950	28.7%
営業利益率	5.3%	6.3%	1.0P
経常利益	1,618	2,040	26.1%
経常利益率	5.7%	6.6%	0.9P
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,074	1,380	28.4%
当期純利益率	3.8%	4.5%	0.7P

<新 中期経営計画「Next Stage 2027」について>

経営理念を軸とし、中期経営計画を策定し、事業活動を通じて企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指します。

(単位:百万円)

	計画		
	第76期 (2025年3月期)	第77期 (2026年3月期)	第78期 (2027年3月期)
売上高	31,000	34,000	37,000
営業利益	1,950	2,020	2,250
経常利益	2,040	2,120	2,350
当期純利益	1,380	1,460	1,620

Point!

- 2024年8月5日、新たに2025年～2027年の3ヶ年計画をリリース。
- 今期目標数値:売上高310億円達成に向けて進捗中。

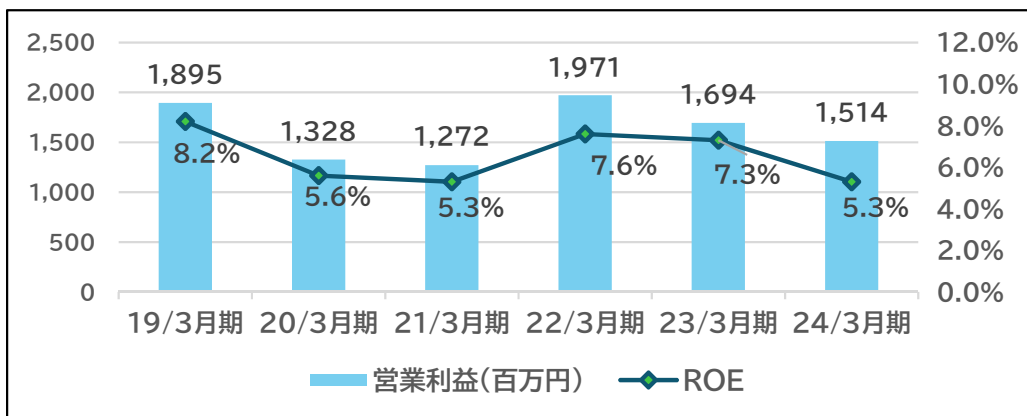
※当社グループは、経営環境の変化等に対応すべく、「ローリング方式」により、中期経営計画を毎年度策定することとしております。

Ⅱ. 今後の戦略及び見通し

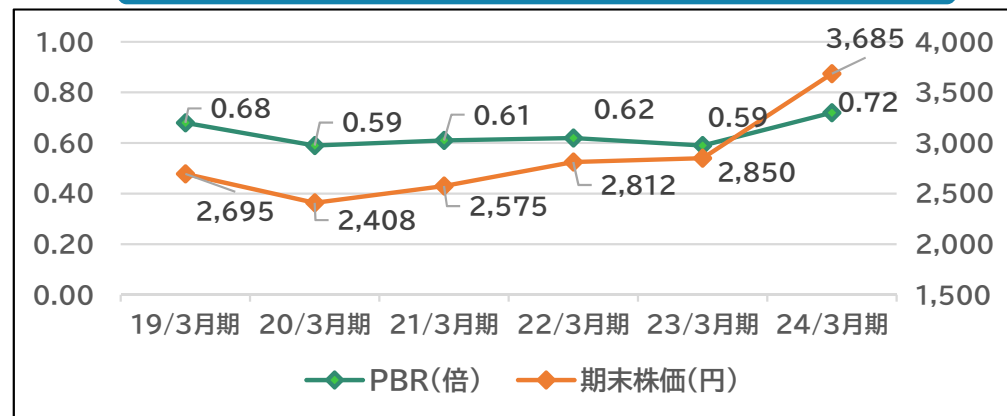
<経営指標目標の達成に向けた取組み>

～ 当社目標:ROE8.0%、PBR1.0倍以上 ～

ROEと営業利益の実績推移

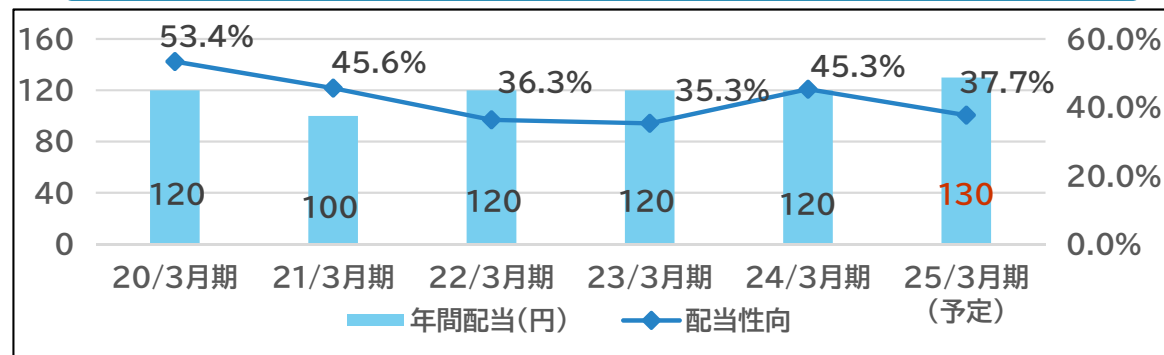


PBRと当社株価の実績推移



～ 株主還元について ～

配当金と配当性向の実績推移



<株主還元方針>

長期的、安定的な利益還元の実施を目標とし、連結配当性向を35%以上、一株当たりの配当金を下限40円とする。また、自己株式取得等の間接的な株主還元についても機動的に対応。

Point!

収益性と経営基盤の強化、株主還元の充実を図ります。人的資本への積極投資、IR活動及び非財務情報の積極開示を推進し、株式市場からの評価を得ることで、経営指標の目標達成を目指します。

この資料には、2024年8月5日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行
管理本部総務グループIR担当

住 所:〒112-0005
東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号:03-3944-4031

F A X :03-3944-4091

E メール :kanri-01@toba.co.jp